

〈解答〉

- ① 1 けたちが 2 えつ 3 ほうてい 4 朗 5 億万 6 脳裏
- ② 1 おわされぬほど
- 2 ウ
- 3 〔例〕翁が大切にしていた牡丹を踏み折ったのが見つかることを恐れた(から)。
- 4 ア
- 5 エ

配点 ①、② 1は各1点、他は各2点 15点満点

〈解説〉

- ①
- 1 「桁違い」は「価値や規模などが他と比較にならないことや、そのさま」を表し、似た意味の慣用句として「桁が違う(≠格段の差がある)」がある。
- 2 「悦」は「喜ぶこと」という意味の漢字で「悦に入る」は「事がうまく運び、満足して喜ぶ」という意味の慣用表現。
- 3 「法廷」とは「裁判が行われる場所」のこと。「廷」の部首である「廾(えん)による)は三画。
- 4 「朗らかだ」は「心にこだわりがなく、晴れ晴れとして明るいさま」を表す形容動詞。「朗」の音読みは「ロウ」で「朗報」「明朗」などの熟語として用いられる。
- 5 「億万」は「数がとても多いこと」という意味で、「億万長者」は「普通の人には望めないほどの資産家」という意味になる。
- 6 「裏」には「おもての反対側、うら」という意味のほか、「内側」という意味があり、「脳裏」は「頭の中や心の中」という意味になる。
- ②
- 「間思随筆」は、江戸時代中～後期の歌人・国学者である加藤景範かとうかげのりによって書かれた随筆。
- 1 古文では、語頭以外の「はひふへほ」は、それぞれ「わいうえお」と読むので、「おはされぬ」の「は」を「わ」と読む。ただし、「ほど」の「ほ」は語頭になるので「お」に換えてはいけない。
- 2 傍線②の直前に「かの花(≠翁が大切にしていた牡丹)を踏み折りけり」とあることから、「やつこ(召し使いの男)」は「主人が大切にしている牡丹を踏み折るという大変なことをしてしまった」と衝撃を受けているのである。
- 3 傍線③に「しとどになりて(≠びっしょりと汗をかいて)」とあるが、「やつこ(召し使いの男)」は、帰宅した翁が、牡丹の植えられている場所(「園」)に来たので、踏み折った牡丹が見つかってしまうと思ひ、冷や汗をかいているのである。また、「生

くる心地なし（「生きた心地がしない）」という気持ちになったのは、主人である翁が大切にしている牡丹を踏み折ったので、きつとひどく叱られるに違いないと思つたからである。

4 空欄④の直前にある「しかじかのこと（「これこれのこと）」とは、「『やつこ（召し使いの男）』から大切にしている牡丹を踏み折られたこと」を指している。「ある人」は、召し使いの男から大切にしている牡丹を踏み折られた翁が、そのことをきつと怒っているに違いないと思ひ込んでおり、翁が、それでも「何の気色もなし（「何も変わったそぶりも見せない）」ことに疑問を感じているのである。

5 自分の大切にしている牡丹が踏み折られても、何も変わったそぶりも見せなかつた理由について翁は、「をのれは楽しびに花を植ゑはべり。さて、それがために怒るべきかは（「私は楽しむのために花を植ゑております。だから、その楽しむのために怒ることがあるでしょうか）」と答えている。これは、「自分は楽しい気持ちになるために花を植ゑているのだから、たとえ嫌なことがあつても楽しい気持ちのままに在るべきであり、怒りの感情をもつべきではない」という翁の考えを示すもので、翁が、しつかりとした信念や考え方を持つた人物であることがわかる。ちなみに、ア「花が台無しにされたことに気づかなかつた翁」、イ「召し使いの男の誠実さに胸を打たれた翁」、ウ「召し使いの男は自分が許されていると知り、胸をなでおろした」、オ「翁が怒っているのは、召し使いの男に花を樂しむ心がないから」の部分が、それぞれ適當ではない。

〔大意〕

ある翁（「老人）が、牡丹の花を好んで、たくさんお植ゑになつている中に、特別に氣に掛けている花があつた。（その氣に掛けている花が）少し咲きかけていた頃、翁が自宅にいらつしやらない時に、召し使いの男が（庭園で）遊んでいて、例の（翁が特別に氣に掛けている）花を踏み折つてしまった。「これは大變だ」と驚いたけれど、どうすることもできない。そうこうしているうちに、翁が帰宅し、すぐに庭園の中にやつて来たので、召し使いの男はびつしよりと汗をかいて生きた心地がしない。翁は、まったく何も気づかない様子で、そのまま二、三日が経過したが、何のそぶりも見せない。人々は、ますます不審に思つた。ある人が、このこと（「翁が、召し使いの男に大切にしている花を踏み折られたこと」）を聞いて、翁に向かつて、「これこれのことがあつたことを聞いた。どんなにか（召し使いの男を）憎たらしいとお思いでしょうか」と言つたところ、翁はほほえんで、「私は楽しむのために花を植ゑております。だから、その樂しみのために怒ることがあるでしょうか」とおつしやつたそつだ。